

★チャレンジ! 夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

音楽科の授業研究会を行いました！！

6月19日（水）に県教育庁南教育事務所仙北出張所の〇〇〇指導主事をお迎えし、授業研究会を行いました。学校運営協議会委員の〇〇〇〇さん、太田東小学校の〇〇〇校長先生、太田中学校の〇〇〇〇先生、太田南小学校の〇〇〇〇〇先生にも授業を参観していただきました。ありがとうございました。

今回は、3・4年複式学級の音楽科の授業を〇〇〇〇先生が提示しました。題材名「リコーダーのひびきに親しもう」のもと、3年生は「『きれいな音』でソラシをふこう」、4年生は「高いミファソの音の出し方を知ろう」というめあてを設定し、3年生は学習リーダーを中心に〇〇〇先生と確認しながら授業を進め、4年生はICT機器を使いこなしながら自分たちで授業を進めていきました。学習リーダーも育ててきており、それぞれが自分たちで授業をつくろうとしていました。また、「きれいな音」を出すためにどうすればいいか自分たちで話し合い、工夫しながらリコーダーの練習に取り組む姿をみて、素晴らしいと感じました。授業を通して、心から音楽を楽しむ子どもたちの姿をみることができました。

授業後の研究協議では、〇〇〇指導主事から演奏に集中して取り組んでいる姿や授業を通して音（音楽）をたくさん実感している姿、さらには子どもたち一人一人が目を輝かせて授業に取り組んでいる姿など、学習に向かう姿勢の素晴らしさをほめていただきました。

授業後の研究協議では、〇〇〇指導主事から演奏に集中して取り組んでいる姿や授業を通して音（音楽）をたくさん実感している姿、さらには子どもたち一人一人が目を輝かせて授業に取り組んでいる姿など、学習に向かう姿勢の素晴らしさをほめていただきました。

複式学級は、一つの教室の複数学年の子どもたちがいて、複数の学習活動を同時に展開することが多くなります。そのため、先生方の授業準備等は大変ですが、それに子どもたちも応えながら授業に臨んでいます。今回の授業研究会では、〇〇〇先生が複式指導を通して、子ども一人一人のよさや可能性を引き出しながら子どもを中心とした授業づくりについて、目指す方向性を示しました。本校で目指す子どもの姿「かんがえる子ども～自ら考え、判断し、責任をもって行動する子ども～」です。複式学級における授業改善は、その大きな鍵になると考えています。



連絡

6月24日（月）の5校時に花の苗植え作業を行います。軍手（またはゴム手袋）、汗ふきタオル、そして必要に応じて長靴や帽子の準備をお願いします。なお、天気予報では雨になっています。24日（月）にできない場合は、翌日に行います。